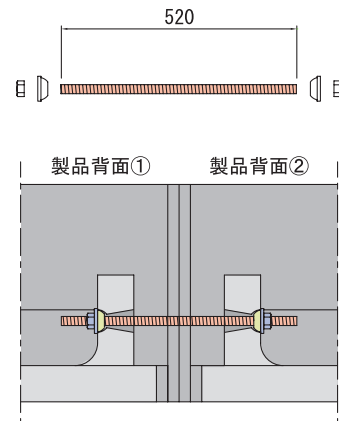


施工要領書

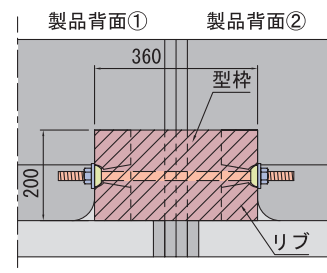
● 連結方法

- ① 隣り合う製品を2本の全ネジ長ボルトを用いて接続する。(M20,L=520mm)
- ② 接続部の孔に長ボルトを通し、樹脂ナットを挿入し、次にナットを手で締まる程度に締め付ける。
- ③ 曲線部は、水系に沿って配置しているのでナットの締め具合に注意すること。締めすぎると製品の方向が変化する為、気を付ける。



● 型枠の設置

- ① 接続部の長ボルトを固定する為、隙間にコンクリートを打設するので、その型枠を設置する。
- ② 設置場所は、接続リブの垂直端面で隣り合うリブの垂直端面に、またがるよう設置する。
- ③ 型枠の大きさは、縦が200mm・横が360mmの長方形とし、これ以上の大きさで扱いやすい形状であれば問題ない。



● コンクリート打設

- ① 接続部の長ボルトを固定するため、隙間にコンクリートを打設する。
- ② コンクリートは、24-8-40を基準とし、型枠に無理な影響を与えない範囲で良く締め固めを行うこと。縦壁の前面、ボルト固定部の背面の連結部の隙間も間詰めコンクリートを打設する。
- ③ コンクリートが十分に硬化した後、型枠を取り外す。

